

# 広報ひらかたのファン増やします

## 7月号から 感想くれた読者に地元野菜を家までお届け

「広報ひらかた」裏表紙に毎月掲載している「クイズ de 広報」の読者プレゼントに、7月号から地元野菜の詰め合わせ(1000円相当)が初登場する。市内の農家で作る「枚方市農業研究会」が厳選した旬の野菜を、当選者の自宅まで直接届ける。

クイズの応募者はこの3年間で3倍以上増えており、市民に人気の高い地元野菜をプレゼントに加えることでさらなる応募者増につなげ、市民生活に不可欠な情報が詰まった広報紙に親しんでもらうことが狙い。担当者は「おいしい地元野菜をPRして広報ひらかたのファンを増やします」と意気込む。野菜プレゼントは今後不定期で実施する。

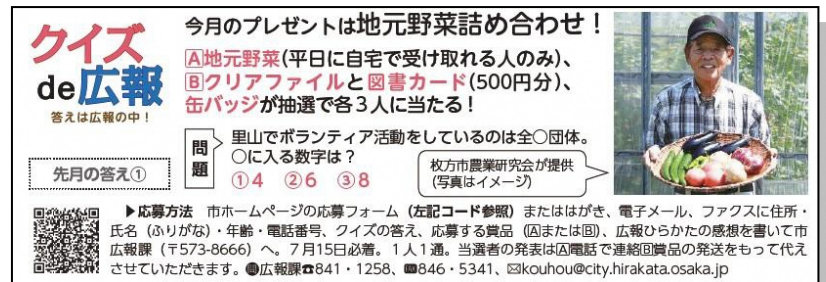


- ★「広報ひらかた」裏表紙の「クイズ de 広報」は、紙面に関するクイズに答えて紙面の感想と合わせて応募すると抽選で市のオリジナルグッズなどが当たるコーナーで、広報ひらかたがタブロイド版から冊子版に変わった平成16年に始まった。当初は3カ月に1回掲載で、平成27年8月号から隔月、28年8月号から現在と同じ毎月掲載となった。
- ★応募数は平均20~30件程度で、市広報課は応募者数をもっと増やしたいと、コーナーの改良に取り組んだ。平成25年10月号からはメールやファクス、28年2月号からは市ホームページからも申し込みできるようにしたほか、グッズも28年4月号から図書カード(500円分)を追加。30年に入ってから川崎麻世さんや森脇健児さん、漫才コンビのCOWCOW、市の文化芸術アドバイザーを務める平田オリザさんなど枚方ゆかりの著名人のサイン入りクリアファイルのプレゼントも続けている。
- ★その甲斐あってクイズの応募者は平成27年度月平均48.5件、28年度68.4件、29年度92.5件と増加を続け、30年度は168.7件に。3年間で3倍以上の伸びを見せている。31年3月号の応募は254件と過去最高を記録した。
- ★応募者が大きく増えたことで、記事に関するさまざまな感想もたくさん寄せられるようになった。大阪北部地震直後の30年8月号では地震の対応や備えになどについて5ページ

にわたって特集を組んだ。「広報を読んで、地震での職員の皆様の活躍には本当に頭が下がります」「(地震で)心身とも落ち着かない中、記事を読んで枚方市民で良かったと心癒された」「地震の対応がタイムテーブル式に書かれていてとても分かりやすかった」など、クイズの応募 160 件中地震に関する意見が 26 件も寄せられた。また、市のオリジナルレシピを紹介する「枚方キッチン」や、市民が撮影した市内の写真を紹介する表紙「ひらふおと」も好評な意見が多数寄せられている。

★地元野菜詰め合わせのプレゼントは、地元農業のPRに取り組みたい農業振興課と「広報ひらかたのファン増やします」をキャッチフレーズに、プレゼントのさらなる充実を図りたい広報課との市内コラボ企画で、市内の農家で構成する「枚方市農業研究会」が全面的に協力。「枚方キッチン」レシピで使用する旬な地元野菜を同会が厳選して 1000 円分の詰め合わせにし、抽選で 3 人にプレゼントする。当選者には市職員が野菜を直接届ける予定で、日程が合う限り同会メンバーも同行する。地元農家の生産者と市民が直接触れ合える貴重な機会にもなる。お届け日は 7 月下旬以降になる予定。

★7月号では、野菜または、オリジナルクリアファイルと缶バッジ・図書カードのどちらかを選んでもらう。野菜は平日に自宅で受け取れることが条件となる。野菜プレゼントは今後も不定期に実施予定。広報課の担



**クイズ de 広報**  
答えは広報の中!

今月のプレゼントは**地元野菜詰め合わせ!**  
A 地元野菜(平日に自宅で受け取れる人のみ)、  
B クリアファイルと図書カード(500円分)、  
C 缶バッジが抽選で各3人に当たる!

先月の答え①

問題 里山でボランティア活動をしているのは全〇団体。  
〇に入る数字は?  
①4 ②6 ③8

枚方市農業研究会が提供  
(写真はイメージ)

応募方法 市ホームページの応募フォーム(左記コード参照)またははがき、電子メール、ファクスに住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号、クイズの答え、応募する賞品(固または回)、広報ひらかたの感想を書いて市広報課(〒573-8666)へ。7月15日必着。1人1通。当選者の発表は☎電話で連絡回賞品の発送をもって代えさせていただきます。●広報課☎841・1258、☎846・5341、✉kouhou@city.hirakata.osaka.jp

▲広報ひらかた令和元年7月号裏表紙「クイズ de 広報」

当者は「心温まるプレゼントで『住んで良かった』と喜ばれるまちにしていきたい。おいしい地元野菜をPRして広報ひらかたのファンを増やしていきます」と意気込む。

★枚方市農業研究会は 64 人の農家で組織され、農薬を減らすエコ農産物に関する技術研究や枚方産農産物の展示品評会、地元野菜の直販会などを行っている。事務局は市役所別館 3 階農業振興課。会長の森田敏夫さん(79 歳)は「農薬を減らせるよう工夫しながら、朝日が昇る頃から日が暮れるまで毎日世話してきた野菜です。おいしい野菜を食べて、枚方の農業は頑張っていることを知ってもらえれば」と話す。

★「広報ひらかた」は毎月 1 日発行で市内全戸に配布している枚方市の広報紙。18 万 8200 部発行(7月号現在)。全 48 ページ。7月号の配布期間は 6 月 26 日～末日。

<問い合わせ>

広報ひらかたやプレゼント企画に関すること：市長公室 広報課

TEL072-841-1258、FAX072-846-5341

地元野菜・枚方市農業研究会に関すること：産業文化部 農業振興課

TEL072-841-1348、FAX072-841-1278